

二重匿名（Dual Anonymous）査読システムのガイドライン(ver. S25B)

すばる TAC

この文書は、二重匿名（Dual Anonymous, DA）査読システムのもとでプロポーザルを執筆する、あるいは審査する際のガイドラインです。

プロポーザルのレビューは、純粋に見込まれる科学的成果に依るべきものです。しかし、ESO (Patat 2016)、Hubble Space Telescope (Johnson & Kirk 2020)、ALMA (Carpenter et al. 2022) などの査読プロセスで、アンコンシャスバイアスの影響が指摘されています。すばる TAC が過去 6 回のセメスター（S20A -S22B）で調査を実施したところ、女性 PI によるプロポーザルの採択率が、男性 PI によるプロポーザルのおよそ半分であることが判明しました（図 1）。同様の傾向が、PI の経験年数ごとの統計でも見られます。この採択率の違いの原因は明確には分かっていませんが、アンコンシャスバイアスの影響が懸念されます。すばる TAC は、本来性別がプロポーザルの科学的な評価を左右することがあってはならず、男性 PI と女性 PI で採択率は同程度であるべきと考えます。Johnson & Kirk (2020) では、男性の審査員が女性 PI のプロポーザルに厳しい評価をつける傾向が指摘されており、その場合、DA 査読システムの採用によって、アンコンシャスバイアスの影響が軽減できると考えられます。そこですばる SAC と TAC は、すばる望遠鏡のプロポーザル審査において、DA 査読システムを S23B から採用しています。

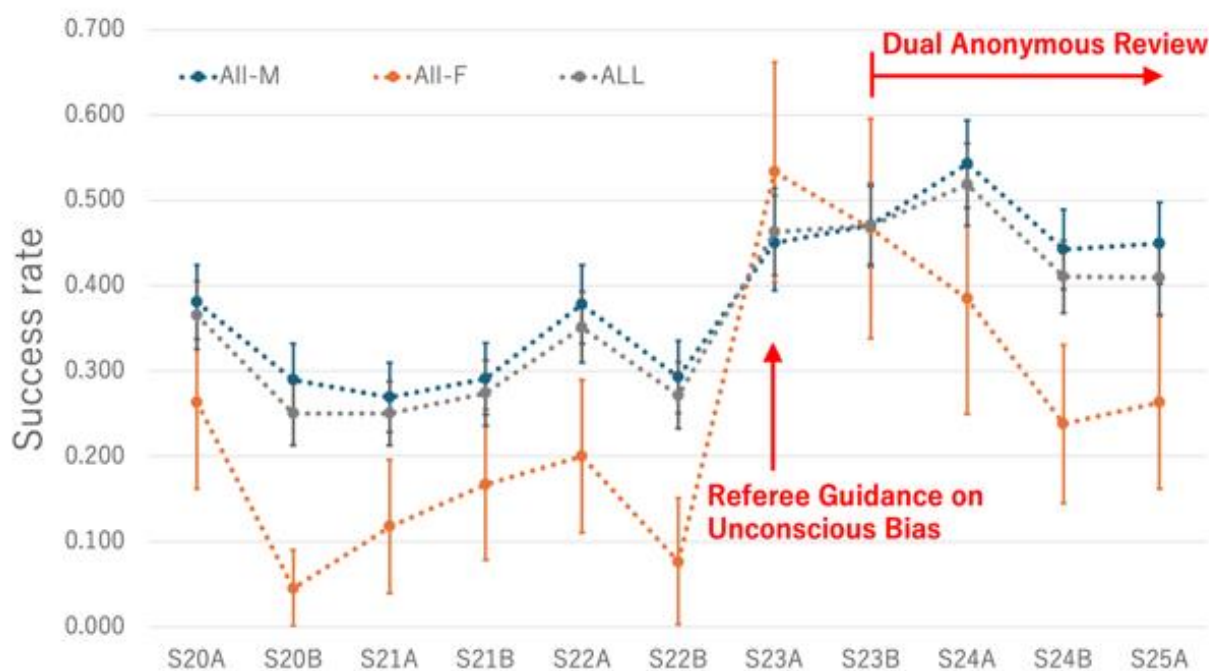


図 1 : PI の性別（男性 PI : 青、女性 PI : 橙、全てのプロポーザル : 灰）による採択率の違い

プロポーザル申請者のためのガイドライン

DA 審査システムで最も重要な点は、審査員が申請者を特定することなく、純粹にプロポーザルの科学的なメリットに基づいて評価を下すことです。そのため申請者は、審査員によって個人が特定されないようにプロポーザルを書くことが求められます（同時に審査員も申請者によって特定されることがあってはなりません。） DA 審査システムの一般的なガイドラインは以下にまとめられます。

- 「Scientific Justification (SJ)」には、PI と Co-I の個人名を書かないでください。プロポーザルカバーシートの個人名は審査員には伏せられた状態で審査されます。
- SJ では、申請者の過去の研究に言及するとき、申請者自身の研究と特定されないような書き方をしてください。出版前の研究・データに言及する際は、“private communications” 等を使い、個人名やプロポーザル ID などを書かないでください。
- 論文、データ、ソフトウェアを引用する際は、第3者の立場で言及してください。

DA 違反の例：

- Examples for referencing a paper, Tanaka, et al. 2023
誤: We revealed that A is B (Tanaka, et al. 2023).
正: Tanaka, et al. (2023) revealed that A is B.
誤: The equivalent width was measured in ten objects in our past observation (Tanaka, et al. 2023).
正: The equivalent width was reported in ten objects in Tanaka, et al. (2023).
- Examples for referencing data taken by the “FOO” project
誤: In the FOO Survey, we have conducted 6 nights of observations and found xxx.
正: Investigations of the data taken by FOO Survey have found xxx (private communication).
- Examples for referencing proposers’ paper in preparation
誤: Region A has recently been observed (Tanaka, et al. in prep.).
正: Region A has recently been observed (private communication).

他の DA 違反の具体例は、ALMA の DA ガイドラインに記載されています[\[link\]](#)。

カバーシートで審査員に隠される項目：

申請者はカバーシートに個人名を書く必要がありますが、個人が特定できる以下の項目は、審査員や技術審査員には隠された状態で渡されます。申請者は SJ とカバーシートの他の項目では、個人名が特定できないように書いてください。

- Principal Investigator
- Co-Investigators
- Thesis Work
- List of Applicants’ Related Publications

- Condition of Closely-Related Past and Scheduled Observations
- Post-Observation Status and Publications
- Team Expertise

インテンシブプログラムについて：

「Call-for-Proposals」で書くことが求められている Co-I の役割「Roles of Co-Investigators」に関しては、カバーシートの「11. Team Expertise」に記入し、Scientific Justification には書かないでください。

DA 違反があった場合の対応：

TAC および審査員が、特定のプロポーザルが DA 審査システムの書き方に則っていないと判断した場合、そのプロポーザルの申請者には審査結果発表時に通知されます。DA 違反をした場合、現状では罰則はありませんが、今後のセメスターで何らかの罰則が課せられる可能性があります。

審査員のためのガイドライン

審査員はプロポーザルを審査する際、申請者の個人情報に依らず、純粋に科学的なメリットに基づいて審査してください。DA 違反に該当すると見られるプロポーザルを見つけた場合は、PRORES（プロポーザル審査の Web システム）の「Comments to TAC」の欄に記載してください。DA 違反の有無はプロポーザルの審査基準としては考慮せず、科学的な観点から評価を出してください。DA 違反の具体例は、ALMA の DA ガイドラインに記載されています[[link](#)].